



ようこそ『習志野高等学校』へ

校長 赤松 茂 顕

習志野市立習志野高等学校は、地域からの大きな期待や支援を受け、昭和32年に開設し、創立60年目を迎える輝かしい歴史と伝統を誇る学び舎です。

現在は全日制課程普通科と商業科を併設し、地元の習志野市にとどまらず千葉県全域から、夢の実現を果たすべく、959名の生徒が在籍し、日々切磋琢磨しながら学校生活を送っています。

「雑草の如く逞しく 習志野の王冠たれ」を標榜し、『文武両道』を実践する中、スポーツや文化にとどまらず全国の各界で活躍する優れた人材を多く輩出してきました。

特に、運動部では、2度の甲子園大会を制覇した野球部をはじめ、サッカー部・バレーボール部・体操競技部・ボクシング部・剣道部・柔道部は全国大会や関東大会の常連校として活躍するとともに、バスケットボール部・女子ソフトボール部・弓道部・空手道部・陸上競技部も、全国の雄を目指して日々厳しいトレーニングを積み重ねています。

文化部では、全日本吹奏楽コンクール大会の上位常連校として、過去21回の金賞を受賞する吹奏楽部や美術部などの各部活動も日々の練習や作品制作等に励み、数々の成果をあげるとともに、地域の行事に積極的に参加し、その知名度は地域を超えて習志野高校というブランドを確立しています。

「ナンバーワン」を目指すひた向きの努力、「オンリーワン」の夢の実現に向けての真摯な努力、その両方を実現するために、「不易」な取組みを基礎とし、いわゆる「流行」を的確に取り込んだ教育実践に努めております。

習志野高等学校で、笑って、泣いて、エネルギーに満ち溢れた高みの高校生活に『チャレンジ』したい中学生の皆さん、是非その扉をあけてください。

習志野高等学校を愛するすべての『チーム習志野』スタッフが、皆さんの夢の実現のお手伝いをいたします。